

みんなの夢の創造と実現のために……

# 星のゆめ

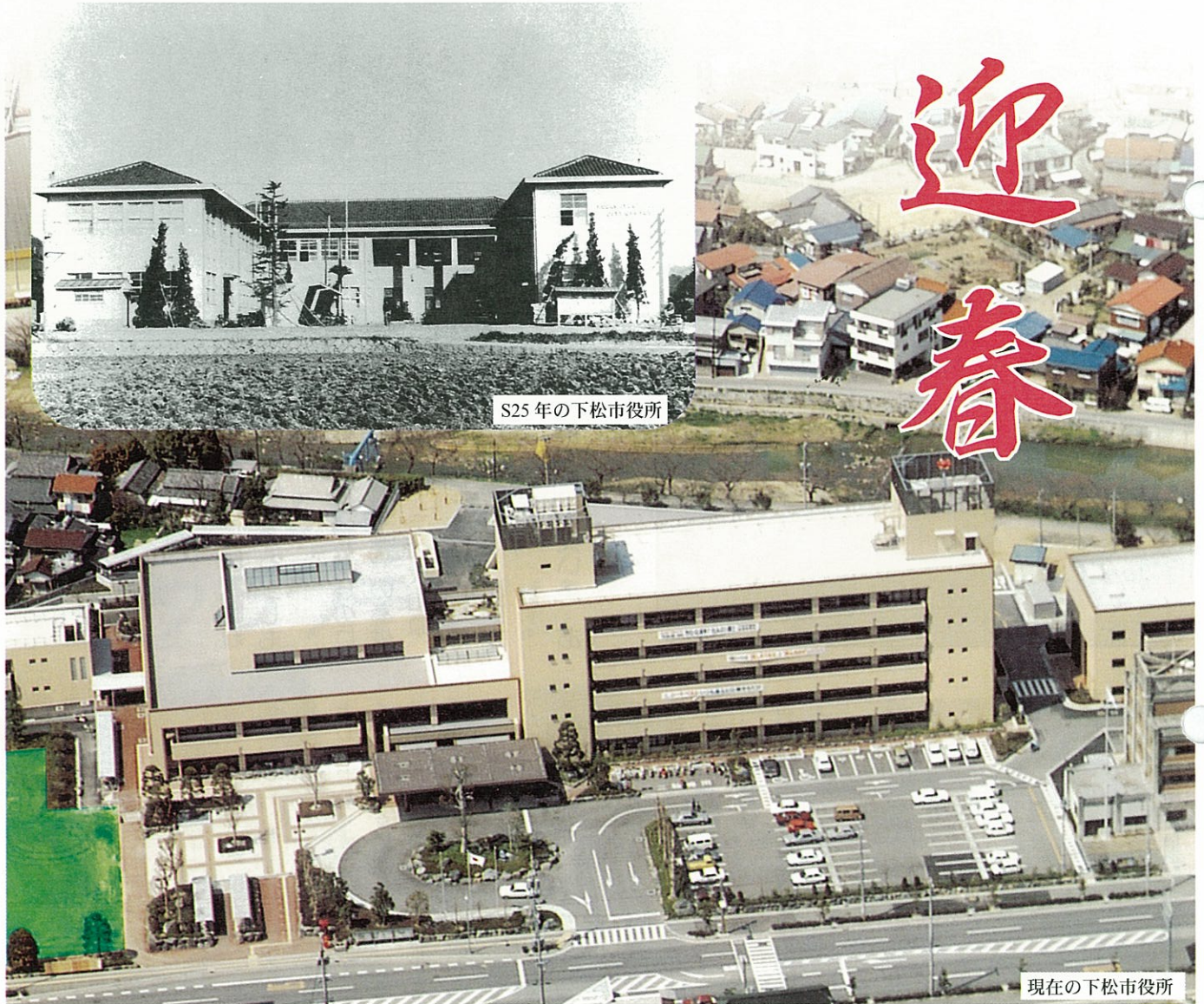
下松市観光協会  
会報

VOL.10

編集・発行／下松市観光協会

発行責任者／近間幸雄

Phone 0833-45-1843



S25年の下松市役所

現在の下松市役所



世の中景気がスツキリせず、日本経済も低迷の域をなかなか脱する事ができない。一方時代はいわゆる規格商品の大量宣伝、大量販売方式から価値重視型へと変化してきている。われわれの関係分野でも、ある時代もはやされた大型リゾート型から、地方の個性的な宿泊施設、観光施設へ視点が移動している。

その例として昨今のやたら目につくテレビ番組の旅の特集の中でも秘宝の湯とか、ランプの宿等を集中して取材しているように思われる。

アルコール飲料にしても、大量型の旗主であるビールから、多様性のあるワインや日本酒への重心移動がおこりつつあり、流通の中では大型ショッピングセンターより小さな街の専門店の存続や、商店街の再開発が重要視されてきている。

しかし、合理化、システム化を促進する大型組織に対して、省力化組織化の遅れている小型形態のものに時代が要望しているとはいえず、どうやってその流れに答えられるのか課題は多いようだ。

(A)



# 稲穂祭り(狐の嫁入り)

浄土宗法静寺 住職 見山 洋昭

朝目覚めると、昨日まで心配していた天気が嘘のように晴れ上がり素晴らしい秋晴れだった。お祭りの朝のフクフクする気持ちは、大人になった今でも、子供のころと少しも変わらない。

旧山陽道を中心に広がる花岡の町並みが幟旗や露天で祭り一色に飾られる。朝からのにぎわいは午後の『御神幸行列』でピークに達する。御神霊をお移した『お出宮』のお供に、生野屋、大黒町、戎町や少年サッカーチームの御神輿、東陽韋駄天クラブの大山車、かわい稚児の花駕籠や子供たちの踊り、そして呼び物である『キツネの嫁入り行列』がつづく。近年、混雑する交通の整理や参拝者の安全のため地元消防団に加え、ボーイスカウトの少年たちにも協力してもらっている。

色づきはじめて美しい花岡の山々、秋の実りの田畑、楽しそうな子供たちの笑い声、あたたかいふるさとのお祭りだ。

## キツネ寺縁起

享保九年(一七二四)のある夜、周防国都濃郡末武村花岡の浄土宗盛涼山法静寺の住職がある夏の夜にふしぎな夢を見た。

二匹の老いた白キツネが夢まくらに立ち「わたしたちは衰えて死期が迫っている。死後のなきがらをあなたに託すに、畜生道から解脱して、みほとけの道を得させてほしい」と哀願したのである。

住職はさっそく供をつれ、夢で教えられたシラムが森(徳山市久米)へと出かけた。たしかに老いたキツネ夫婦が安らかに大往生をとげていた。住職はなきがらを寺へ引取り墓地の片すみに手厚く葬って、仏の資格を与え、「白誉休信居士」「白誉妙信大姉」の戒名をつけた。今も寺の過去帳には二匹の白キツネの戒名が記され、位牌は本堂に祀られています。キツネにまつまられたようだ…などと笑ってはいけません。

同寺の「キツネ」にまつわる話である。

## 稲穂祭

### 復活五十年記念事業

福德稻荷奉賛会

毎年、十一月三日、恒例の稲穂祭(奇祭 狐の嫁入り)も皆様のお陰をもちまして平成十一年には復活五十年祭を迎えようとしております。稲穂祭は、たくさんの人々に親しまれ、また子供たちの、ふるさとを愛する心を育ててきました。これからも、このお祭りが、ますます人々に愛され盛大に行われますよう、五十回記念を機会に、福德稻荷奉賛会(下瀬一男会長)では、実行委員会(中村隆征委員長)を設け左記の事業を計画しております。

#### 一、前夜祭り

#### 二、狐の嫁入り関係の衣装の修理

#### 三、舞台の引き幕 その他

どうか、この記念のお祭りが盛大に行われますよう御協力、御援助を賜りますよう心よりお願い致します。



わしや笠戸のひらめいの。今の、下松が元氣、元氣でのわしやうれしいですいの。この間の、徳山の鯛や鮮が云うてましたいの。「年末も、新年も、徳山は散々じゃった。」っていの。昔はの、近鉄松下やトポスの周辺は、人と物で、そりあ、ごったがえしてましたいの。それがの、「カンカラカン」じゃったつて。人の流れは恐いもんですの。時代の流れも無視出来ませんにいの。元旦にの、ザ・モール周南には三万人の人が集まったんですつての。すごいですいの。時代の流れでしよういの。元氣と云えば山の方も元氣が出てきましたの。「ふくしの里」ですつての。海の方はわしら「ひらめ」や「笠戸島」で賑やかになつて、「西友」や「サンリブ」で陸が元氣になつて、「ふくしの里」で山がよみがえる。正に、下松は、万、万歳ですいの。こうなつたら、追風に乗って早く周南合併して「スケールメリット」の恩恵受けたいですの。皆さんそう思いませんかいの。



11月3日



稲穂まつり フォト  
グラフィティ!!





# 10周年記念大会



笠戸島マリン

## イカダレース大会を終えて

井上克憲  
イカダレース局 運営事務

### こぼれ話

今年第十回を数える節目のイカダレース大会で、スタッフの意気も上がりっぱなし。沢山の人々にこの大会の事を知ってもらい参加して頂く事を目指しての企画づくり。特に「女性の参加を」と。結果、レディースの出場チームも増え、徳山女子短大の応援団（約30名）、そしてスタッフとして手伝ってくれたレディー達。皆さんに感激！感謝！。特に総合成績であまたの強豪を退けて二位に輝いた「鋼鉄レディース」には感服だ。彼女達の知力と体力に拍手を送り、今後ますます女性の参加、活躍に期待するところだ。

熱射病になりそうな暑い日射しの下、年令や男女の別なく一心に打ち込み頑張る事の出来た一日。皆さん あ・り・が・と・う。



レディース総合優勝「東洋鋼鉄 CANLADIES」 総合優勝「人魚とへの河童号」

八月三十日午後七時十分、威勢のよい太鼓の音に合わせ今年も夏の終りをつける風鎮踊りが始まりました。台風の季節、二十十日を前に風鎮祈願と五穀豊饒を願って古くから伝えられた郷土の民謡踊りです。地元下松はもとより、光、徳山、新南陽からも仮装踊りの方々が多数参加をされます。主催する妙見宮の奉賛会の面々が、忙しい中審査にかけつけて下さった皆様や毎年多大な助成をいただき近隣の企業の方々に感謝をしつつ、

## 風鎮踊り

汗だくで行事の進行にあたりました。



## 灯ろう流し

平田川灯ろう流しは、昭和五年から毎年盆明けの大潮の夜、夏の宵のひとときを、川面に浮かぶ灯ろうのほのかな明かりに、先祖の霊を供養する古風な伝統行事として今に引き継がれています。今年も八月二十二日の午後八時過ぎから、約四百個の灯ろうが御詠歌の唱和のなかを両方浄土に向けて流されました。



米泉湖文学碑プロムナード  
**歌碑・句碑建立へのご案内**

米泉湖の堰堤に、あなたの作品を  
 歌碑・句碑として刻んでみませんか!!

下松市の米泉湖（末武川ダム）は、全国的にも珍しいロックフィルダムです。周囲は公園として整備され、観光の名所として多くの人々に親しまれています。このダムには、作詞家星野哲郎氏他の参加を得て詩碑・句碑が完成し、新たななる心の交歓の場として訪れる人々の心のやすらぎをあたえています。

「山」

星野哲郎

流れる雲の  
 移り気よりも  
 動かぬ山の雪化粧  
 ガンコ印の  
 野良衣をまとい  
 生きる師匠（おやじ）の  
 横顔に  
 おれは男の 山をみた  
 おれもなりたい  
 山をみた

胸熱く過ぎる

葦がゆ流離なお

大中祥生

けわしき道

されどわが道

八代英太

明るく

素直に

あたたかく

丹波哲郎

「ふるさとの小川」

磯村英樹

ふるさとの小川はいまも  
 澄んで流れて  
 いるであろうか  
 すばやい・の子たちを  
 光の紐で捕えたり放したり  
 しているだろうか  
 夕日の影を  
 こまかく砕きながら  
 溝菰の白根を  
 洗っているだろうか  
 ふるさとの小川はいまも  
 澄んだ音色を  
 奏でているだろうか  
 わたしは流れる  
 ひとすじ川のように

下松市出身/東京在住

**募集案内**

- ・歌碑(短歌) 黒御影石のプレート(33cm×40cm)
- ・句碑(俳句) 白御影石のプレート(色紙大)
- ・プレートに作品を堰堤サイド壁面にはめこみます。
- ・受付期間 随時受付
- ・参加料金 短歌：七万円  
俳句：五万円(堰堤サイド壁面)
- ・申込方法 申込書をお願いします。
- ・申込及び問い合わせ先 千七四四一八五八五 下松市大手町三丁目三番三号  
下松市役所内 下松市観光協会 米泉湖文学碑プロムナード  
係宛 電話〇八三三一四五一八四三
- ・振込み先 米泉湖文学碑プロムナード実行委員会  
代表 近間幸雄(山口銀行下松支店(普)6030939)
- ・完成 申込用紙郵送・振込み入金後60日

主催 下松市観光協会  
 主幹 米泉湖文学碑プロムナード実行委員会

**「ほんほり」のスポンサーのお願い**

下松市観光協会PR委員会では、陽春を彩る行事のひとつとして、切戸川河川公園の桜並木及び体育館前広場一帯に「ほんほり」を吊るし、市民レクリエーションの一端を担うよう準備しているところでございます。

つきましては、左記の要領でスポンサーの募集を行いますので、出費多大なおり大変恐縮ではございますが、事業の趣旨をご理解のうえ、皆様方のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

・スポンサー料(予定)

大型のほんほり三面にスポンサー名を掲載したもの

①二〇〇〇〇円

ほんほりの三面にスポンサー名を掲載したもの

②六〇〇〇円(一口)

・設置の場所 切戸川河川両岸 下松警察署から西柳橋まで  
 体育館広場



会員紹介

大橋ひろのぶ  
おびきまします



(株)新周南新聞社  
大橋ひろのぶ

Vol.10

みなさんはじめまして！  
江口大先輩の後を継いで、このコーナーを担当することになりました。

今、日刊新周南の記者のほかに、Kビジョンにも出演します。  
コロシアム！



下松市下谷、静かな山合いの中にあるのが、今年創立20周年を迎えた白須那カントリークラブ。

白須那高原開発が下松市から払い下げを受けた市有林を活用し、ゴルフ場を造って20年。設立の目的であった、雇用の創出や地元の活性化にも役



くだまつ健康パークのおとなり、市街地からも近い、海沿いのゴルフ場が「くだまつパブリックゴルフ」です。

コースはフラット（平ら）で、女性やお年寄りも楽しめるというからうれしさいっぱい。でも、5番ホールは六百二ヤードの超ロングホール。本格派ゴルフファーマも満足できちゃう、幅広いコースなのだ。

重いクラブは電動のリモコンカーがスイスイ運んでくれる。3月中旬〜10月末まではナイターもあって、平日の昼間は、何と2人でのプレーも

立っているとか。

広いコースは、どのホールも戦略性に富んでいるのが特徴。例えば7番ホールはグリーンへの回りにバンカーがあり3番ホールはグリーン前に一本松がある。何通りもの攻略法があるので、挑戦する意欲が思わず湧いてきてしまう。全体的にはフラット（平ら）なので、シニアや女性にも人気がある。

クラブハウスも新しく、女性のお風呂も整備している。



お問い合わせ ☎0833-53-0311



お問い合わせ ☎0833-43-5001



OK。またプレーした日は健康パークの入浴、入館料が無料！になる。皆さんもぜひ、ゴルフと温泉を楽しんで下さい。

三池孝尚の京都あれこれ

ただ今 “単身赴任中” 京都 仁和寺にて

あかい坊 名譽住職 三池孝尚

京都のお寺はどここの庭にも紅葉が有り、秋の観光の目玉として観光客の心をとらえているのですが、なかでも仁和寺の庭の美しさは格別です。

と、手前ミソな宣伝していたのですが、昨年の秋は長雨のせいで十一月中旬に紅葉が始まらず、とても心配しました。

ところが、逆に十二月まで紅葉が残り、朱色の赤が幾重にも重なって夕陽の当たった葉の色は筆では書けません。暖かい秋日よりのおかげで長いシーズンとなりました。

東山の清水寺や青蓮院はライトアップが人気を呼んで夜の坂道を歩き廻って寒さを吹っ飛ばす繁盛ぶりでした。お正月は元旦の早朝から門跡さんと共に金堂で修正会をすまし新年を祝いました。

六日は御室流の花の生初式、七日は、初祈祷で世界平和と国家安泰をお祈りしました。八日から東寺で御修法が始まり、自坊への帰省は一月十五日の大護摩供になります。

一年間の家族の安全を願っています。どうぞ花岡大師へおいでませ。久しぶりに、皆様方とお会いできそうです。家族が健康で明るい一年は合掌から始まります。心の踊る一日を大切に今年もよろしくお願ひします。単身赴任も二年目となります。



編集後記

先月号より始めた表紙の下松今昔シリーズが以外と好評を得ている。そうなる人間欲が出るもので次は何をとりあげようか迷ってしまう。大橋広宣氏の会員紹介の新企画もはじまった事だし、会員の方々のご意見、要望をおまちしています。(A)